Connect-CMS マニュアル

https://connect-cms.jp

Connect-CMSのバージョン: 1.6.0 2023年03月24日

Connect-Study編

Connect-CMS マニュアル は株式会社オープンソース・ワークショップと協力者ページの人々によって記載されました。

Connect-CMS マニュアル目次

表紙	1
概要	3
設計	4
構造	5
バケツ	
ページ	7
ページとフレーム	8
フレームとバケツ	9
フレームとプラグイン	
外部サービス	
外部サービス	
権限	14
権限の種類	
プラグインの権限設定	
Connect-Study	
DroneStudy	
初期表示	_
バケツ	
表示設定	
権限設定	
バケツ選択	
FaceStudy	
SpeechStudy	
音声合成	
協力者	
	34

概要

【Connect-CMS 情報源】

Connect-CMS公式サイト https://connect-cms.jp/ フォーラム掲示板や基本的な情報はこちらを参照してください。

【バージョン】

Connect-CMSのバージョン: 1.6.0

【ライセンス】

Connect-CMS のライセンス ソフトウェアとしての Connect-CMS は MIT ライセンスで公開しています。 https://github.com/opensource-workshop/connect-cms/blob/master/LICENSE

ドキュメントのライセンス Connect-CMS マニュアルは GFDL ライセンスで公開しています。

【ライセンス本文】

Copyright (C) 2022 YEAR OpenSource-WorkShop Co.,Ltd. Permission is granted to copy, distribute and/or modify this document under the terms of the GNU Free Documentation License, Version 1.3 or any later version published by the Free Software Foundation; with no Invariant Sections.

Front-Cover Texts is "The Connect-CMS manual was written by Open Source Workshop Co., Ltd. and the people on the back cover."

Back-Cover Texts is written by people.

A copy of the license is included in the section entitled "GNU

Free Documentation License".

【GFDL不変セクション】

このマニュアルを出版や印刷する場合には、表紙テキストはGFDLライセンスに従い、マニュアルの外装に印刷されることを要求します。

裏表紙としての協力者ページの人々はGFDLライセンスに従い、マニュアルの中に印刷されることを要求します。

【表紙テキスト】

"Connect-CMS マニュアル は株式会社オープンソース・ワークショップと裏表紙の人々によって記載されました。"

【設計】

Connect-CMS の【設計】カテゴリについて説明します。 カテゴリの中には、プラグイン(大項目)があり、プラグインの中に、それぞれの機能(小項 目)があります。

設計カテゴリのプラグイン一覧です。

<u>プラグイン</u>

プラグイン名	プラグイン概要
構造	Connect-CMSのデータ構造
ページ	Connect-CMSのページ、フレーム、バケツ、プラグインの関係
外部サービス	Connect-CMSの機能を補完する外部サービス
権限	Connect-CMSの権限

【構造】

Connect-CMS の【構造】プラグインについて説明します。 Connect-CMSのデータ構造

機能名	機能概要
バケツ	Connect-CMSでは、記事はバケツに入っていると考えます。

【バケツ】

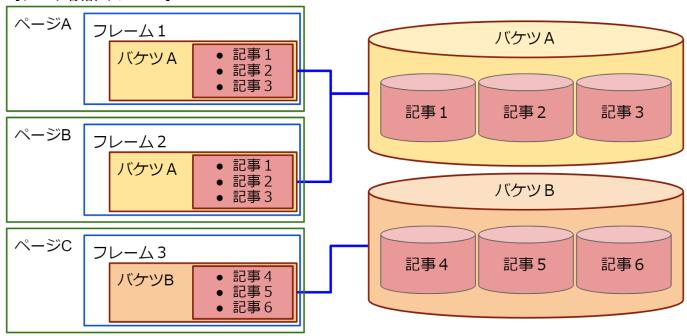
Connect-CMSでは、記事はバケツに入っていると考えます。 以下にバケツとは何かを説明します。

Connect-CMS では、記事などのデータと、画面を切り離す設計方針を採用しています。 この方針の狙いは以下のものです。

- 間違えた操作で画面上の枠を削除しても、データは残っているようにしたい。
- 同じデータを複数ページに表示するという柔軟な画面構成を実現する。

これを実現するために、以下にデータの設計イメージを示します。

【データ設計イメージ】



データ設計を説明します。

【画面側設計】

- Connect-CMS で作成したWeb サイトは複数のページを持ちます。
- ページは、複数のフレームを持ちます。
- フレームは一つのバケツに紐づきます。

【データ側設計】

- バケツというものがあります。
- 一つのバケツには、同じ種類のデータが入っています。例えば、「最新情報ブログ」 というバケツがあり、そこに記事がたくさん入っている。というイメージです。

[ページ]

Connect-CMS の【ページ】プラグインについて説明します。 Connect-CMSのページ、フレーム、バケツ、プラグインの関係

機能名	機能概要
ページとフレーム	Connect-CMS のページについて説明します。
フレームとバケツ	Connect-CMS のフレームとバケツの関係について説明します。
フレームとプラグ	Connect-CMS のフレームとプラグインの関係について説明します。
イン	

【ページとフレーム】

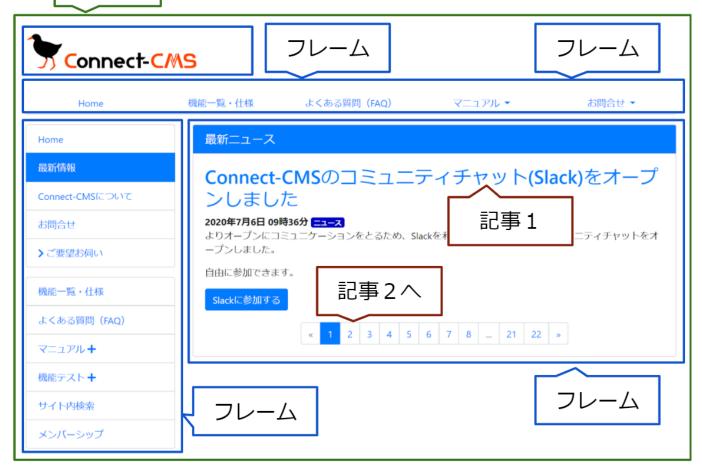
Connect-CMS のページについて説明します。 以下にページとフレームの例を示します。

Connect-CMS では、メニューに出てくる単位のものをページと呼んでいます。 ページは、一つまたは複数のフレームで構成されます。

- 以下の図の緑の枠がページです。
- 以下の図の青の枠がフレームです。

【ページとフレーム】





【フレームとバケツ】

Connect-CMS のフレームとバケツの関係について説明します。 以下にフレームとバケツの例を示します。

Connect-CMS では、フレームに表示するバケツを指定します。 フレームは、一つのバケツに紐づけされます。

- 以下の図の青の枠がフレームです。
- 以下の図の赤の枠がバケツです。

【フレームとバケツ】



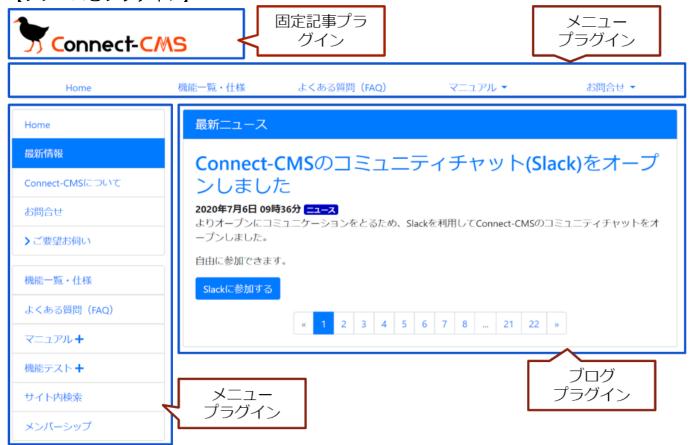
【フレームとプラグイン】

Connect-CMS のフレームとプラグインの関係について説明します。 以下にフレームとプラグインの例を示します。

Connect-CMS では、フレームにプラグインが紐づいています。

- 以下の図の赤の枠がプラグインです。
- 以下の図の青の枠がフレームです。

【フレームとプラグイン】



【外部サービス】

Connect-CMS の【外部サービス】プラグインについて説明します。 Connect-CMSの機能を補完する外部サービス

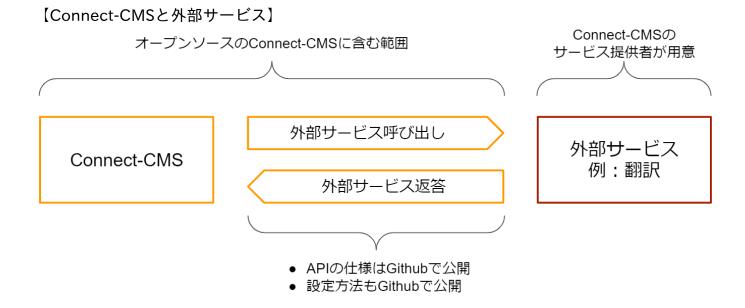
機能名	機能概要
外部サービス	外部サービスとは、Connect-CMSから呼び出すAPIサービスです。

【外部サービス】

外部サービスとは、Connect-CMSから呼び出すAPIサービスです。

翻訳やPDFサムネイル自動生成、AI顔認識などは、Connect-CMSとしては、呼び出しを行うユーザインタフェースのみを提供し、実際の処理は別のサービスを使用していただくものです。 APIの仕様は公開しているため、個人が自作することも、会社等が提供しているサービスを使用することも可能です。

WYSIWYGエディタの「翻訳」、「PDFアップロード」、「AI顔認識」は外部サービスです。 以下に外部サービスのイメージを示します。



以下に外部サービスの詳細を説明します。

外部サービスとは

- 「外部サービス」とは、Connect-CMS 本体には、その機能を持たず、サービス提供会社の方で実装(実現)する機能を指します。
- 例えば、WYSIWYG の「翻訳」機能や「PDFアップロード」、「AI顔認識」機能が外部サービスにあたります。
- 「翻訳」機能や「PDFアップロード・画像変換」機能は、呼び出す側のユーザーインターフェースはConnect-CMS 本体に含んでいます。
- サービス提供会社側で、各外部サービスの実装を行う必要があります。

外部サービスのインターフェース

- 各外部サービスのインターフェースは、Connect-CMS のGithub Wiki で公開しています。
- https://github.com/opensource-workshop/connect-cms/wiki/API

外部サービスの有効化

- 外部サービスが用意できたら、機能を有効に設定する必要があります。
- 外部サービスの有効設定はマニュアルの「管理者 外部サービス設定 WYSIWYG設定」を参照してください。
- 外部サービス設定 WYSIWYG設定

外部サービスが使えるサービス

- 外部サービスが使えるサービスはConnect-CMS公式サイトの以下のページで公開します。
- Connect-CMS サービス紹介

【権限】

Connect-CMS の【権限】プラグインについて説明します。 Connect-CMSの権限

機能名	機能概要
権限の種類	権限とは、管理機能やプラグインの配置ができる権限や記事の投稿ができ
	る権限などのように、各操作を許可するものを指します。
プラグインの権限	各プラグインでは、モデレータと編集者に記事投稿と承認有無を設定でき
設定	ます。

【権限の種類】

権限とは、管理機能やプラグインの配置ができる権限や記事の投稿ができる権限などのように 、各操作を許可するものを指します。

ここでは、Connect-CMS の権限について説明します。

Connect-CMS の権限には、コンテンツ権限と管理権限の2種類があります。 以下、それぞれの役割について、説明します。

コンテンツ権限

フレームの操作や記事に対する権限です。

権限名	できること
コンテンツ管理者	以下、すべての権限を含めた記事の管理者権限
プラグイン管理者	ページにプラグインを配置し、プラグインの設定画面を操作できる権限
モデレータ	記事の投稿が可能。他者の記事の変更も可能。
承認者	記事の承認が可能
編集者	記事の投稿が可能
ゲスト	ユーザIDはあるが、権限は付与していない状態。
	記事に関しては操作できない。
	投稿はさせないが、「メンバーシップページ」や「ログインユーザ全員参
	加」ページを参照させたい場合などに使用します。

<u>管理権限</u>

管理画面の操作権限です。

権限名	できること
システム管理者	管理機能をすべて操作できる権限
サイト管理者	サイト管理を中心にWebサイトの設定を行うメニューが操作できる権限
ページ管理者	ページ管理が操作できる権限
ユーザ管理者	ユーザ管理が操作できる権限

【プラグインの権限設定】

各プラグインでは、モデレータと編集者に記事投稿と承認有無を設定できます。プラグインによっては権限設定のないものや、承認機能がないものもあります。

【画像:1】



[Connect-Study]

Connect-CMS の【Connect-Study】カテゴリについて説明します。 カテゴリの中には、プラグイン(大項目)があり、プラグインの中に、それぞれの機能(小項 目)があります。

Connect-Studyカテゴリのプラグイン一覧です。

プラグイン

プラグイン名	プラグイン概要
DroneStudy	ドローンでプログラミングを学べます。
	生徒のChromeBookやiPadで作成して、教卓のパソコンで実行することも
	できます。
	DroneStudyはConnect-CMSのオプションプラグインです。
FaceStudy	AIによる、顔認識を体験できます。
	FaceStudyはConnect-
	CMSのオプションプラグインで、外部サービス設定が必要です。
SpeechStudy	AIによる、音声合成を体験できます。
	SpeechStudyはConnect-
	CMSのオプションプラグインで、外部サービス設定が必要です。

[DroneStudy]

Connect-CMS の【DroneStudy】プラグインについて説明します。 ドローンでプログラミングを学べます。 生徒のChromeBookやiPadで作成して、教卓のパソコンで実行することもできます。 DroneStudyはConnect-CMSのオプションプラグインです。

機能名	機能概要
初期表示	ドローンプログラミングを作る画面です。
バケツ	複数のDroneStudyの設定を作成できます。
表示設定	DroneStudyの表示内容を設定できます。
権限設定	DroneStudyでプログラミングを保存できる権限を設定します。
バケツ選択	このフレームに表示するDroneStudyを変更できます。

【初期表示】

ドローンプログラミングを作る画面です。

離陸や着陸、前進、後進、回転、宙返りなど、ドローンを制御するための命令がブロックで並んでいます。マウスでプログラミングするだけで、ドローンを飛ばすことができ、楽しくプログラミングを学ぶことができます。

【正三角形の例】



• 文部科学省の小学校プログラミング教育の手引にも例示がある、正三角形を教材にして学ぶことができます。

【保存、実行ボタン】



• 作成したプログラムや作成途中のプログラムを保存できます。パソコンとドローンを接続しておくと、実行ボタンをクリックすれば、ドローンがプログラム通りに動きます。





• ffmpeg を使用することで、ドローンのカメラから取得した映像をパソコンに表示する ことができます。

【バケツ】

複数のDroneStudyの設定を作成できます。



• リモートサイト設定をすることで、リモートサイトのプログラムを呼び出せます。



• 新しいDroneStudyを作成できます。



• DroneStudyを変更・削除できます。

【表示設定】

DroneStudyの表示内容を設定できます。 ひらがなモードや実行ボタンの表示/非表示を設定できます。

【表示設定】



• ブロックの言語を漢字、ひらがなから選ぶことができます。まだ、習っていない漢字がある学年では、ひらがなで使うことができます。

【権限設定】

DroneStudyでプログラミングを保存できる権限を設定します。 権限が設定されていないと保存できないので注意しましょう。

【権限設定】

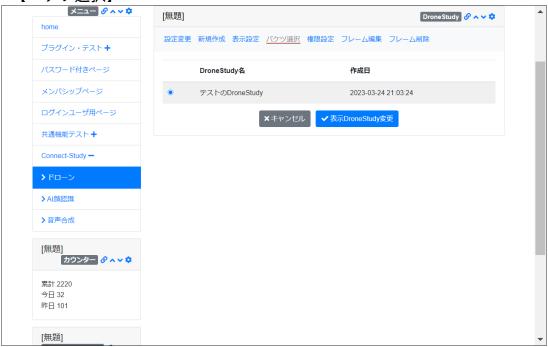


• プログラミングするユーザに割り当てた権限を設定します。

【バケツ選択】

このフレームに表示するDroneStudyを変更できます。





• クラスごとにDroneStudyを用意しておくなどの使い方ができます。

[FaceStudy]

Connect-CMS の【FaceStudy】プラグインについて説明します。 AIによる、顔認識を体験できます。 FaceStudyはConnect-CMSのオプションプラグインで、外部サービス設定が必要です。

機能名	機能概要
顔認識	写真や画像で顔認識を体験できます。

【顔認識】

写真や画像で顔認識を体験できます。 サーバにある「AI顔認識プログラム」で、アップロードした画像(写真)から顔を探します。

【写真指定画面】



• 写真や画像を指定してアップロードすることで、AIが顔を認識して、顔部分を四角で 囲います。

【顔認識の結果】



• 背景など、一部のご認識もありますが、顔を認識しています。

【顔と犬の認識の結果】



• 犬の顔は認識せず、人の顔は認識していることがわかります。





• 目を認識していることがわかります。

【笑顔の認識の結果】



● 四角で示した顔の中で、笑顔と認識した部分が丸で表示されます。口元で笑顔を認識 しているのがわかります。

[SpeechStudy]

Connect-CMS の【SpeechStudy】プラグインについて説明します。 AIによる、音声合成を体験できます。 SpeechStudyはConnect-CMSのオプションプラグインで、外部サービス設定が必要です。

機能名	機能概要
音声合成	入力したテキストと選択した声や速度で、音声合成を体験できます。

【音声合成】

入力したテキストと選択した声や速度で、音声合成を体験できます。 サーバにある「AI音声合成プログラム」で入力したテキストを音声に変換します。

【音声合成画面】



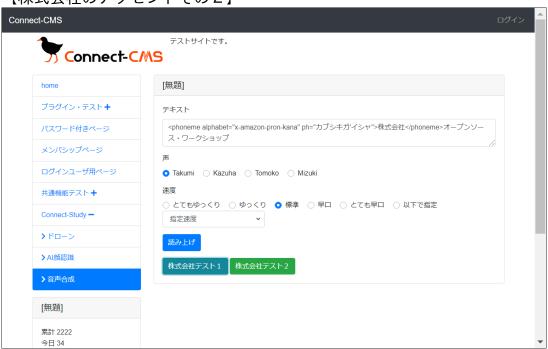
• 読み上げボタンを押すことで、指定したテキストが音声合成されます。実は、私、to mokoもこの音声合成で作成されています。

【株式会社のアクセントその1】



• 株式会社のアクセントが少しおかしいことを体験できます。

【株式会社のアクセントその2】



• 株式会社にアクセント記号を追加して、発声を補正している例です。

協力者

Connect-CMS マニュアル協力者で掲載を希望する方を掲載します。 掲載を希望されない協力者の方もいらっしゃいます。 掲載の有無にかかわらず、ここにすべての協力者の方に感謝を申し上げます。

- 株式会社オープンソース・ワークショップ(https://opensource-workshop.jp/)
- 永原 篤(<u>twitter/github</u> @nagasheep)
- 堀口 正行(github @horitada)
- 井上 雅人(github @masaton0216)
- 牟田口 満(twitter/github @akagane99)
- 石垣 佑樹(github @gakigaki)

お問い合わせ

発行日 2023年03月24日

株式会社オープンソース・ワークショップ

URL: https://opensource-workshop.jp/ Mail: info@opensource-workshop.jp

住所:〒104-0053 東京都中央区晴海三丁目13番 1-4807号

TEL: 03-5534-8088 FAX: 03-5534-8188